

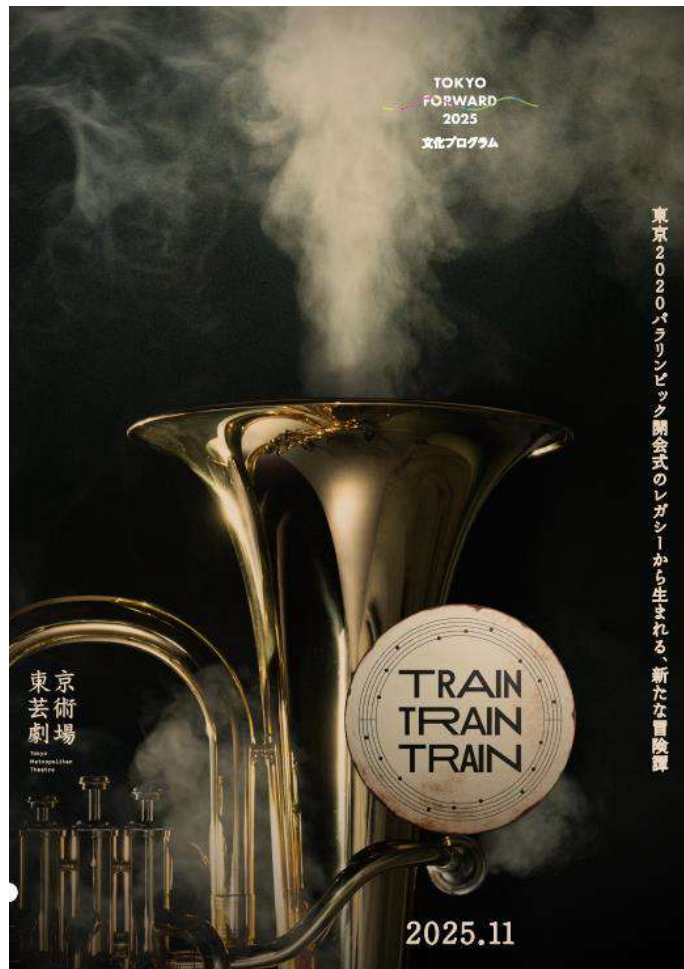
東京2020パラリンピック開会式のレガシーから生まれる、新たな冒険譚が2025年に！

TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム

『TRAIN TRAIN TRAIN』開催決定

本年11月上旬、出演者オーディションの詳細発表！

<https://www.train-train-train.com/>



東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団は、東京で世界陸上とデフリンピックが開催される2025年に、3つのアートプロジェクト「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム」を実施します。

その一つとして、デフリンピックが開催される2025年11月に、**東京2020パラリンピック開会式のキャスト・スタッフが集い、新たな仲間を加えて創作する新作舞台公演『TRAIN TRAIN TRAIN』**を東京芸術劇場にて上演します。

本作のモチーフは「Train」。車いすの少女が不思議なSLと旅をする冒険譚を、身体表現に音楽、言葉を交えて綴り、個性豊かなキャスト、アーティストが多彩に表現します。観客へのアクセシビリティにも配慮し、障害の有無を越え、誰もが共に楽しめる創作に挑戦します。

また、**本作とともに創り上げる出演者を募集します。今年11月上旬には、詳細を発表しますので、是非チャレンジください。**

【問い合わせ先】

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、中本、田中 電話：03-5000-5639

(制作) 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 事業企画課 内藤・吉田・三谷 電話：03-5391-2115

(広報) 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 広報営業係 川崎・久保・山口 電話：03-5391-2117

メール：pr@geigeki.jp ※設備更新工事を行うため、2024年9月30日～2025年7月中（予定）の期間、休館いたします。

多様な個性が躍動し感動を呼んだ 東京2020パラリンピック開会式

その絆/レガシーから生まれる新たな冒険譚 舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』

2021年8月24日 東京2020パラリンピック開会式
「WE HAVE WINGS = 私たちには翼がある」をコンセプトに
片翼の小さな飛行機の物語が展開されました。

700人を超える出演者の中心で「片翼の小さな飛行機」を演じたのは
車いすに乗る少女。一般公募で選ばれた当時13歳の**和合由依**。
和合は飛ぶことを諦めていた「片翼の小さな飛行機」を瑞瑞しく演じ
個性豊かなパフォーマーたちが演じる様々な乗り物との出会いを経て、
勇気を出して飛び立つ感動の物語が描かれました。

**多様な個性が躍動する姿を圧巻のパフォーマンスを通じて
芸術的に描いたこの式典は、無観客ながら映像を通じて多くの
視聴者に感動をもたらし、国内外から高く評価されました。**

あの感動から4年後となる2025年秋
世界陸上・デフリンピックの開催を契機に
その絆/レガシーから新たな物語が生まれます。

東京2020パラリンピック開会式の
**演出・チーフ振付を務めた森山開次を演出・振付に
「片翼の小さな飛行機」を演じた和合由依をキャストの軸に迎え
障害の有無を超えた多様な個性が集うカンパニーが綴る、新たな冒険譚です。**



写真：長田洋平/アフロスポーツ



写真：The New York Times/Redux/アフロ

【開催概要】 TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム 『TRAIN TRAIN TRAIN』

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 公演時期 | 2025年11月下旬 |
| (2) 会場 | 東京芸術劇場 プレイハウス |
| (3) 演出・振付 | 森山開次（東京2020パラリンピック開会式の演出・チーフ振付） |
| (4) 音楽 | 運沼執太（東京2020パラリンピック開会式にてパラリンピック讃歌編曲、パラ楽団指揮） |
| (5) 出演 | 和合由依（東京2020パラリンピック開会式出演）、ほか |
| (6) アクセシビリティディレクター | 栗栖良依（東京2020パラリンピック開閉会式ステージアドバイザーとしてDE&Iを総合監修） |
| (7) アクセシビリティアドバイザー | 廣川麻子（TA-net） |
| (8) スペシャル・アンバサダー | ウォーリー木下（東京2020パラリンピック開会式総合演出） |
| (9) 企画制作 | 東京芸術劇場 |
| (10) 主催 | 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 |

【TOKYO FORWARD 2025 文化プログラムとは？】

世界陸上・デフリンピックが東京で開催される2025年に、東京2020大会のレガシーを継承・発展させて展開する「多様な参加者をつどい・つながり・つくりあげる」3つのアートプロジェクト。「まつり」をテーマとしたイベント、ろう者と聴者の協働による舞台芸術制作、東京2020パラリンピック開会式のレガシーを受け継ぐ新作公演を通し、東京の持つ芸術文化の魅力を発信し、共生社会の実現に向けた歩みを進めるとともに、両大会を芸術文化を通じて盛り上げます。

『TRAIN TRAIN TRAIN』 3つのポイント

◆2021年無観客の開会式と生まれたレガシー

無観客での開催にも関わらず、手応えと充実感を感じたキャスト・スタッフは大会終了後も、コミュニティーを継続してその絆／レガシーを育ててきました。大会から4年。この絆から新たな舞台が生まれます。開会式のチーフ振付・演出を手掛けた森山開次をメインアーティストに、開会式での絆／レガシーを核に新たな仲間も加わり、多様な個性が集うカンパニーで魅力あふれる舞台を描きます。

◆森山開次を軸に集う、新たなカンパニー

開会式のパフォーマンスをまとめ上げた森山開次は、ダンサー・振付家にして高い演出力を持ち、各方面からの人望も高く、国内外でその実績を高く評価されています。

カンパニーには「片翼の飛行機」を演じた和合由依の出演をはじめ、開会式でパラ楽団を率い豊かな音色を奏でた音楽家の蓮沼執太が参加。蓮沼が開会式でのレガシーを胸に、キャスト・スタッフの皆と創り上げる音楽も本作の柱です。開会式の絆を基にしたオリジナルキャスト・スタッフに、魅力溢れる新たなキャスト・アーティストが集います。これからのメンバー発表にご期待ください。

◆誰でも心躍るダンス作品「TRAIN TRAIN TRAIN」

本作のモチーフはTrain。車椅子の少女が不思議なSLと旅をする冒険譚を、身体表現に音楽、言葉を交えて綴ります。圧巻のダンスパフォーマンスをベースに、さまざまな乗客や出来事の出会いを個性豊かなキャスト、アーティストが多彩に表現。観客へのアクセシビリティにも配慮し、障害の有無を超え、誰もが共に楽しめる創作に挑戦します。誰もが胸おどる今までにないダンス作品をぜひお楽しみに！

出演者オーディション開催決定！

『TRAIN TRAIN TRAIN』を共に創り上げる出演者を募ります。
詳細は2024年11月上旬、下記のホームページにてお知らせします。

- 東京芸術劇場ホームページ <https://www.geigeki.jp/>
- 作品公式ホームページ <https://www.train-train-train.com>

※障害の有無に関わらず、ご応募いただけます

※書類審査、対面審査を予定しています。

※オーディション日程：2025年1月予定。リハーサル・本番期間は2025年10-11月

【お問合せ】

東京芸術劇場 電話 03-5391-2115 (休館期間含む平日11:00～16:00)

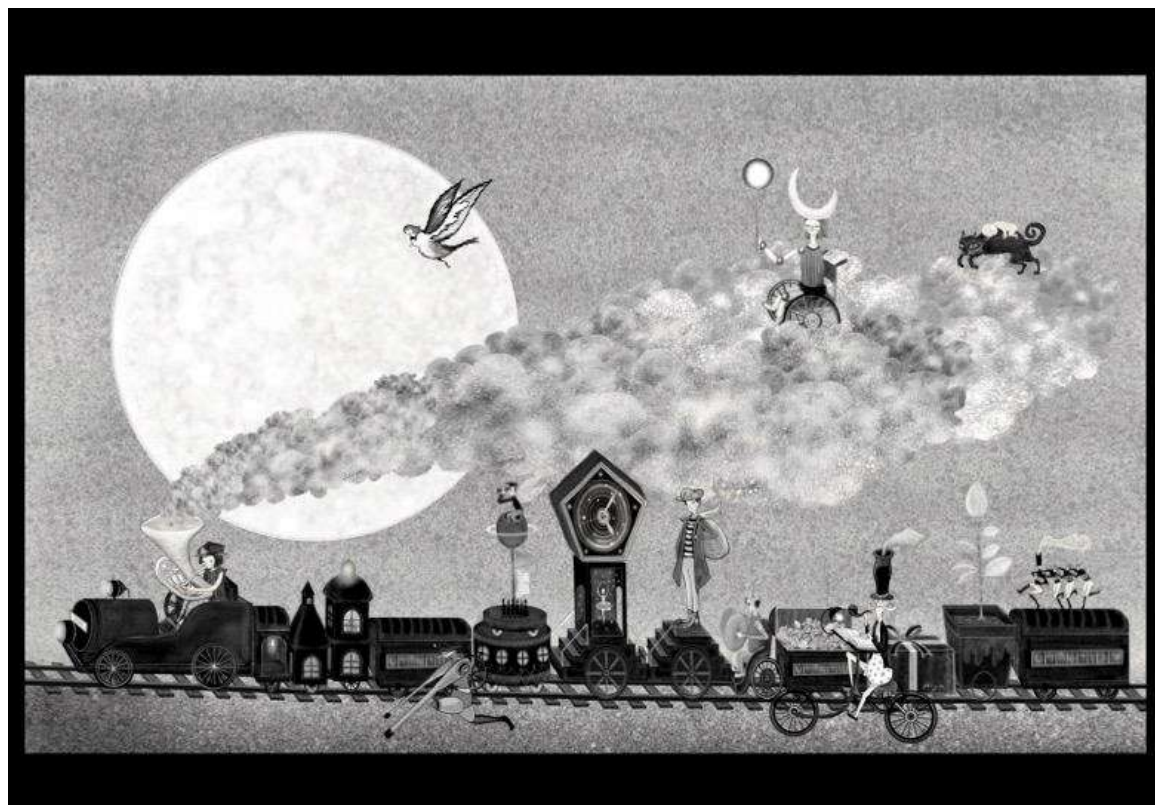
ファックス 03-5391-2215

※設備更新工事を行うため、2024年9月30日～2025年7月中（予定）の期間、休館いたします。

アーティストコメント・プロフィール①

錆びついた街から不思議な SL が発車する。現実と空想が入り混じる世界を、心と体を揺らして進む。どんな乗客を乗せ、どんな風景に出会えるのか。汽笛を高らかに響かせ、思いっきり蒸気を吹き出し駆け抜ける。最高の仲間たちと、新たな世界を紡ぎたい。

森山開次



森山開次画

■ 森山 開次 もりやま かいじ / 演出・振付



©石塚定人

舞踊家 / 振付家 / 演出家

2005年ソロダンス『KATANA』でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、07年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘。13年芸術選奨新人賞。同年文化庁文化交流使。20年新国立劇場バレエ団『竜宮』演出振付美術衣裳。21年東京2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。能・雅楽など伝統芸能とのコラボレーションや福祉施設に滞在しての映像制作など、実験的なプロジェクトに数多く取り組む傍ら、23年ドキュメンタリー「GIGAKU! 踊れシルクロード」(NHK BS) 前後編メイン出演、舞台『千と千尋の神隠し』カオナン役、映画出演など、ダンサーと演出家の両面でジャンルを自在に横断した活動に組み込み、現代のダンスシーンを牽引するアーティストの一人である。2024年指揮者井上道義氏の最後のオペラ『ラ・ボエーム』演出振付美術衣裳で全国7都市公演予定。

作品ノート

今
旅立ちのとき
目の前に敷かれたレール その先に続く未来 曇天に覆われた空と心
少女は小さな勇気を胸に摩訶不思議なSLに乗って旅に出る
不思議な旅人たち
一つの出会いが、次の出会いに繋がり 連結して走り出す
人生は最初で最後のラストラン
さまざまな出会い まだ見ぬ風景 真っ暗なトンネル
小さなSLは 運命を高らかに奏でながら

まだ見ぬ世界へ 駆け抜ける

この「TRAIN TRAIN TRAIN」は、
東京2020パラリンピック開会式直後に、描いた一枚の「蒸気機関車の絵」から始まった。

あの場で出会った沢山の人びと
夢と願い 苦悩と困難 喜びと歓喜
様々な出来事があった。
だが 式典は「最終目的地」ではなく
ここから旅が始まるのだと、心に刻んだ瞬間でもあった。
まだ 旅は終わらない
途中駅であり 道なかば
旅の続きをするために、次は列車に乗って旅立とう！と描いた絵だった。

がったん！ごっとん♪ 揺られながら 時を巡り
がったん！ごっとん♪ 踊りながら 繋がって
まだ見ぬ世界を駆け抜けたい

私の命も 1つの出会いが 次の新しい出会いに導いてくれた。
出会いが世界と繋がって いつの間に 私を遠くに運んできてくれた。
命を運ぶ列車 錆びついた街から発車した 不思議なSL
現実と空想が入り混じる世界を、心と体を揺らして進む
どんな乗客を乗せ、どんな風景に出会えるのか
楽しみでならない

汽笛を高らかに響かせ、思いっきり蒸気を吹き出し駆け抜ける。
最高の仲間たちと、新たな世界を紡ぎたい。

森山開次（演出・振付）

スペシャル・アンバサダー 応援コメント・プロフィール

あの時、東京で、パラリンピックの開会式を、どういうものにするのか、したらいいのか、何度も何度も、たくさんの人と意見を交わした。

歴史に残るものにしないとイケない、と言う人もいたし、まずは自分たちが楽しまないと、と言う人もいたし、障がいを持っている人たちの希望にならないとイケないと言う人もいたし、日本の文化の力を見せないとイケないと言う人もいた。

しかし、きっと開会式だって、そんなに重たいものを背負わされたって窮屈だろう。

まずは参加してくれるみんな、それぞれのいろいろな夢と事情に触れること。そして、その夢と事情を受け止められる大きなお皿のような開会式になること。それがなにより大事な気がした。

結局のところ“出し物”というのはその大きさに関係なく、理念やキャッチコピーでは作れない。そこにいるみんなの生きた夢と事情が積み重なってできあがる有機体だ。うまくいけば、脳のシナプスのように手と手を繋いで刺激を与え合い、そこから生まれる電気のひらめきとやる気がいつしか膨大なアイデアとなる。

あの時、生まれた、奇跡のような“出し物”は世界中に広がった。そして幸運なことに、見た人それぞれの夢と事情を乗せて、「片翼の飛行機の少女」のように空に羽ばたいた。

あれから3年、あの時に生まれた“夢”をさらに膨らませて、今度は“列車”に乗せて旅に出る。

最初に開次さんの絵を見た時の震えは今も覚えている。誰もがこの列車に乗りたいと思うだろう。一緒に旅に出たいと思うだろう。新しい仲間も乗せて、今度はどこに行くのだろう。

実現できた夢と、実現できていない夢がまだあって、僕はこの作品にそれを託したいと（勝手に）思っている（重くてごめん！）。

みんなのエネルギーが手を繋ぎスパークすればきっとそれが出来上がるだろう。

応援しています！期待しています！楽しみです！

ウォーリー木下（スペシャル・アンバサダー）
東京2020パラリンピック開会式総合演出

■ ウォーリー木下 うおーりーきのした／スペシャル・アンバサダー



戯曲家・演出家

東京都出身。神戸大学在学中に劇団☆世界一団(現sunday)を結成。映像や音楽を取り入れた言葉を発しない、ノンバーバルパフォーマンス集団THE ORIGINAL TEMPOのプロデュースを行い、エジンバラ演劇祭にて5つ星を獲得。その後、スロベニアや韓国、ドイツなどと国際共同製作を行い、海外からも高い評価を得ている。ストリートシアターフェストレンジード静岡など様々な演劇祭でフェスティバルディレクターを務めている。近年の代表作にミュージカル『チャーリーとチョコレート工場』、ハイパープロジェクション演劇『ハイキュー!!』シリーズなどがある。第49回菊田一夫演劇賞を受賞。東京2020パラリンピック開会式総合演出。

アーティストプロフィール②

■ 蓮沼執太 はすめま しゅうた / 音楽



音楽家・アーティスト

1983年、東京都生まれ。蓮沼執太フィルを組織して、国内外での音楽公演をはじめ、多数の音楽制作を行う。また「作曲」という手法を応用し物質的な表現を用いて、彫刻、映像、インスタレーション、パフォーマンスなどを制作する。主な個展に「Compositions」(PioneerWorks、ニューヨーク/2018)、「～ing」(資生堂ギャラリー、東京/2018)などがある。また、近年のプロジェクトやグループ展に「Someone's public and private / Something's public and private」(Tompkins Square Park、ニューヨーク/2019)、「FACES」(SCAI PIRAMIDE、東京/2021)など。最新アルバムに『unpeople』(2023)。第69回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。東京2020パラリンピック開会式ではパラリンピック讃歌編曲及び障害の有無を超えたミュージシャンで構成されたパラ樂團を指揮。

■ 和合由依 わごう ゆい / 出演



©細野晋司

2008年生まれ。

一般公募の中から、東京2020パラリンピック開会式で「片翼の小さな飛行機」役に選ばれる。(2021年8月)
NHK土曜ドラマ「パーセント」出演 宮島ハル役(2024年5月)。
映画バーティカルサイト「ひとシネマ」(毎日新聞社)にてコラムを執筆中。
特技は楽器演奏(ユーフォニアム)

■ 栗栖 良依 くりす よしえ / アクセシビリティディレクター



アートプロデューサー・SLOW LABEL創設者/芸術監督

異文化の人やコミュニティをつなげ、対話や協働のプロセスで社会変革を試みる市民参加型作品を多く手がける。2010年に骨肉腫を患い障害福祉の世界に出会い、SLOW LABEL(現・認定NPO法人スローレーベル)設立。ヨコハマ・パトリエンナーレ(2014,2017,2020)では総合ディレクターとして障害のある人の創作活動におけるアクセシビリティの仕組みを開発。2019年にはシルク・ドゥ・ソレイユの支援を受けて日本初のソーシャルサーカス団SLOW CIRCUSプロデュース。リオパラリンピック開会式・旗引継ぎ式、東京2020パラリンピック開閉会式では、ステージアドバイザーとしてDE&Iを総合監修、東京芸術劇場社会共生委員、TBS「ひるおび」レギュラーコメンテーターなど。

■ 廣川 麻子 ひろかわ あさこ / アクセシビリティアドバイザー



先天性ろう者、東京出身。和光大学在学中の1994年(社福)トット基金日本ろう者劇団入団、俳優、制作として活動中。

2009年ダスキン障害者リーダー育成海外派遣事業第29期生として英国Graeae Theatre Companyにて研修。2012年シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)設立。2015年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)受賞。2016年読売福祉文化賞、2022年糸賀一雄記念未来賞、2024年プラチナ・ギルドアワードをTA-netとして受賞。文化庁文化審議会(2017年度)文化政策部会舞台芸術専門委員、文化庁障害者文化芸術活動推進有識者会議構成員ほか。2018年より東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野ユーザーリサーチャー/特任研究員として芸術文化におけるアクセスを研究中。

本作を通じて、東京芸術劇場が目指すこと

東京都の芸術文化施設である東京芸術劇場は、日本の舞台芸術を牽引する劇場として多彩な舞台芸術を生み出し、誰もが共に生きる社会の実現を目指し芸術的な活動に取り組んできました。TOKYO FORWARD 2025 文化プログラムの一環として、これらの活動の集大成となる本作を創作します。また開催にあたり、東京芸術劇場の実績と専門知識を活かして創作に取り組み、共創的なクリエイション、鑑賞機会の充実を図ります。

社会共生事業と創造事業の連携企画

東京芸術劇場では、社会共生事業を劇場の活動の重要な柱として位置づけ、継続して社会包摂的な取り組みを行ってきました。また演劇・舞踊の創造事業では数々のオリジナル作品を創作し演劇賞も多数受賞、その活動を高く評価されました。公共的な創造活動を牽引する劇場として社会共生事業と演劇・舞踊創造事業の専門スタッフが連携し、実績を活かして芸術性と社会包摂的意義が両立する魅力的な作品づくりに取り組めます。

多様な表現者と共創環境の創出

さまざまな障害や特性のある出演者を安心安全に迎えらるるリハーサル環境をつくり、それぞれの違いを活かしあうことで生まれる新たな表現を創り出します。

多様な鑑賞者に向けた鑑賞機会の充実

作品に対するアクセシビリティを充実させることで、日頃、舞台芸術に触れる機会のない人にも鑑賞の機会を届けていきます。

“多様な個性の躍動”の継承と新たな創作

高い評価を得た開会式が実現した理由は多様な表現者を支えた素晴らしいチームにあります。多様性と芸術性を両立させたチームが築いた絆／レガシーを受け継ぎ、開会式の感動を一過性にせず、先に繋がる新たな展開に取り組めます。開会式から4年、“多様な個性が躍動”する新たな物語が、東京2020パラリンピック開催の地・東京から生まれます。

【問い合わせ先】

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、中本、田中 電話：03-5000-5639

(制作) 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 事業企画課 内藤・吉田・三谷 電話：03-5391-2115

(広報) 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 広報営業係 川崎・久保・山口 電話：03-5391-2117

メール：pr@geigeki.jp ※設備更新工事を行うため、2024年9月30日～2025年7月中（予定）の期間、休館いたします。